

“ヒラメキ”からはじまる
企業ストーリー

故人の想いを、ご遺族に届ける遺品整理業者「(株)クオーレ」

文 牛久保洋次

Text by Yoji Ushikubo

【未常識】今は常識ではない、でも未来に常識となる事…これは私が作った造語です。

年間130万人を超える人が亡くなる多死社会・ニッポン。高齢化の急速な進展と、核家族化に代表される社会構造の変容に伴い、“遺品整理”という仕事に対し、需要が高まっています。

従来は遺品整理や形見分けは親族で行うのが一般的でしたが、先に述べた時代背景も影響し、現代のライフスタイルにおいては、時間的にも人手の面でも、ご遺族の力だけでは支えきれないのが現状です。

今回は遺品整理業で豊富な実績を誇る「株式会社クオーレ」をご紹介します。

同社は2011年に不用品買取や部屋の片付けなど、いわゆる町の便利業として事業をスタートしました。その中で遺品整理が依頼主にとっても喜ばれたことから、現在は遺品整理業を中心に幅広いサービスを展開しています。

遺品と一口に言っても、思い出の品から日用品、財産や不用品など様々であり、遺品整理は単純な片付業務ではなく、故人の想いを、ご遺族に届ける大事な仕事です。

近年では親族が遺品整理する場所から離れている所に住んでいて時間に余裕がなかったり、高齢者や女性の場合は体力がなかったり、自分でやってみただけど、どうにもならない、ということも多々あります。

遺品整理業者に依頼するとご自身の体力や時間の削減はもちろん、細かい仕分けやリサイクル、換金

などメリットも多く生まれます。体力的・精神的にも遺族の負担になりやすい遺品整理作業を業者にお願するののも一つの方法ですが、数多くある遺品整理業者からどこを選ばいいのかわからない方も多いのではないのでしょうか。

クオーレでは遺品整理のプロである“遺品整理士”を多数抱え、家財を「遺品」として扱い、たとえ処分するとしても、丁寧な作業をし、故人の気持ちは勿論、残された遺族の気持ちを最大限に尊重して、業務に努めています。

また遺品整理の仕事では思い出の品に関する話などを聞く過程で、自ずと依頼主と親密な関係を築くようになります。すると、「家を売却したいけど、どこに頼めば良いかわからない」といった相談を受けることも多く、当初は信頼できる業者を紹介していましたが、やはり最後まで同社で責任を持って対応したいと考え、さまざまな資格やスキルを持つスタッフを採用して事業を広げることになりました。その為、現在はリフォームやハウスクリーニング、不動産売買、相続など、より多くかつ細かな要望に応えるべくサービスの幅を広げています。

【株式会社クオーレ】
<http://cuore-group.com/>

今月の一言

超高齢社会で急増する「遺品整理」。

人生最期の旅支度をお手伝い。
これが則ち「未常識の発見」



Profile

慶應義塾大学商学部 卒業
株式会社友アンド愛（レコードレンタルビジネスの開発者）を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長（社）ニュービジネス協議会 理事等を歴任。
現在、株式会社いかしい隊長 会長、その他顧問数社。